

| | | | | | | |
|----|---------|--------|--------------------------------|----------|--|--------|
| 1 | 脳科学研究事業 | 田平 武 | 国立精神神経センター神経研究所疾病研究第6部 | 部長 | アルツハイマー病における神経細胞死促進機構の抑制と阻止方法の開発 | 30,000 |
| 2 | 脳科学研究事業 | 柳澤 勝彦 | 国立療養所中部病院長寿医療研究センター痴呆疾病研究部 | 研究部長 | アルツハイマー病の発症分子機構に関する研究 | 30,000 |
| 3 | 脳科学研究事業 | 岩坪 威 | 東京大学大学院薬学系研究科 | 教授 | 蛋白質異常蓄積を標的とするアルツハイマー病新規治療法の開発 | 30,000 |
| 4 | 脳科学研究事業 | 祖父江 嘉治 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 血管平滑筋細胞形質転換と血小板活性化機能に基づく脳血管性痴呆の原因解明と治療法の開発 | 30,000 |
| 5 | 脳科学研究事業 | 松田 博史 | 国立精神神経センター武蔵病院(放射線診療部) | 部長 | 機能的MRI, 脳磁図, およびPET/SPECTを用いた精神疾患の病態解明とそれに基づく治療法の開発 | 10,000 |
| 6 | 脳科学研究事業 | 宮川 武男 | 理化学研究所(脳科学総合研究センター分子精神科学研究チーム) | チームリーダー | 機能的脳神経疾患の系統的遺伝子解析 | 30,000 |
| 7 | 脳科学研究事業 | 越井 隆 | 国立精神神経センター神経研究所 | 室長 | 神経変性疾患におけるインヒビターカスケード活性化の分子機構とアペプチド阻害剤の開発 | 20,000 |
| 8 | 脳科学研究事業 | 和田 圭司 | 国立精神神経センター神経研究所疾病研究第4部 | 部長 | 神経変性疾患におけるユビキチンシステムの分子病態解明と治療法開発への応用 | 35,000 |
| 9 | 脳科学研究事業 | 赤山 崇人 | 東北大学大学院医学系研究科 | 教授 | 筋萎縮性側索硬化症の病態解明と治療法開発に関する研究 | 25,000 |
| 10 | 脳科学研究事業 | 祖父江 元 | 名古屋大学医学部神経内科 | 教授 | 運動ニューロン疾患の病態関連分子の同定と治療法の開発 | 20,000 |
| 11 | 脳科学研究事業 | 中福 雅人 | 東京大学大学院医学系研究科神経生物学講座 | 助教授 | 神経幹細胞を用いた神経再生・修復のための基盤技術の開発 | 35,000 |
| 12 | 脳科学研究事業 | 橋 道 | 東京大学(医学部付属病院) | 講師 | 免疫性神経疾患の発症機構の解明と治療法の開発 | 20,000 |
| 13 | 脳科学研究事業 | 山村 隆 | 国立精神神経センター神経研究所免疫研究部 | 部長 | 多発性硬化症の発症機構解明と治療法の開発 | 35,000 |
| 14 | 脳科学研究事業 | 吉良 潤一 | 九州大学医学系研究科 | 教授 | 多発性硬化症の神経免疫学的研究—疾患感受性および疾患抵抗性遺伝子を利用した視神経鞘型多発性硬化症の責任自己抗原の検索 | 29,000 |
| 15 | 脳科学研究事業 | 木戸 博 | 慶応大学分子細胞研究センター | 教授 | インフルエンザ脳炎・脳症発症機序の解析と治療法の開発 | 30,000 |
| 16 | 脳科学研究事業 | 今村 浩博 | 国立精神神経センター神経研究所機能研究部 | 室長 | 脳シグナルにおける筋線維構造の本体の解明 | 20,000 |
| 17 | 脳科学研究事業 | 清水 輝夫 | 帝京大学医学部 | 教授 | 福山型先天性筋シグナルの病態解明と治療法の開発に関する研究 | 40,000 |
| 18 | 脳科学研究事業 | 大野 研策 | 鳥取大学医学部生命科学科神経生物学 | 教授 | 神経回路形成障害の分子機構に関する研究 | 22,000 |
| 19 | 脳科学研究事業 | 飯沼 一幸 | 東北大学大学院医学系研究科小児科 | 教授 | 乳幼児期に生じるけいれん発作の病態と治療に関する研究 | 25,000 |
| 20 | 脳科学研究事業 | 杉本 壽 | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 中枢神経損傷後の機能回復機構の解明、治療法の開発 | 30,000 |
| 21 | 脳科学研究事業 | 川口 三郎 | 京都大学大学院医学研究科 | 教授 | 脳・脊髄損傷の再生的治療法の開発 | 20,000 |
| 22 | 脳科学研究事業 | 内山 真 | 国立精神神経センター精神保健研究所精神生理部 | 室長 | ヒト睡眠・生体リズム障害の病態と治療予防法開発に関する基礎研究 | 30,000 |
| 23 | 脳科学研究事業 | 山藤 成人 | 広島大学医学部神経精神医学講座 | 教授 | ストレスへの適応機構の脳内分子機構の解明と予防法の開発 | 28,000 |
| 24 | 脳科学研究事業 | 西川 徹 | 東京医科歯科大学大学院歯学部総合研究科 | 教授 | 覚醒剤・麻薬依存の分子機構の解明と治療法開発に関する研究 | 33,000 |
| 25 | 脳科学研究事業 | 杉山 雄一 | 東京大学大学院医学系研究科脳神経科 | 教授 | 血液脳関門の機能特性を利用した脳内への薬物及び遺伝子送達システムの開発 | 35,000 |
| 26 | 脳科学研究事業 | 高嶋 幸男 | 国立精神神経センター臨床検査部 | 部長 | 精神・神経・痴呆の臨床研究資源に関する研究 | 60,000 |
| 27 | 脳科学研究事業 | 田中 真子 | 新潟大学医学部 | 講師 | 精神・神経・痴呆に対する画期的な治療法に関する研究 | 5,500 |
| 28 | 脳科学研究事業 | 武田 伸一 | 国立精神神経センター神経研究所遺伝子工学部 | 室長 | 幹細胞を用いた脳シグナルに対する治療に関する基礎的研究 | 40,000 |
| 29 | 脳科学研究事業 | 岸石 修 | (財)大阪バイオサイエンス研究所第2研究部 | 名誉所長 | 睡眠調節の分子機構と臨床応用に関する研究 | 25,000 |
| 30 | 脳科学研究事業 | 大橋 泰介 | 国立精神・神経センター武蔵病院神経外科 | 手術部長 | ¹³ C-MRSを用いた痴呆性疾患に対する新しい診断技術と治療法の開発に関する基礎的研究 | 30,000 |
| 31 | 脳科学研究事業 | 橋本 聖 | 東北大学医学部附属病院心療内科 | 助教授・副科長 | 心身症と神経症におけるヒスミン神経系の異常に関する研究 | 21,000 |
| 32 | 脳科学研究事業 | 杉田 秀夫 | 国立精神・神経センター | 名誉教授 | 脳科学研究事業に係る企画及び評価に関する研究 | 8,000 |
| 33 | 脳科学研究事業 | 吉川 和明 | 大阪大学蛋白質研究所蛋白質機能制御研究部門 | 教授 | アルツハイマー病の神経毒性マーカー蛋白質に関する研究 | 10,000 |
| 34 | 脳科学研究事業 | 藤波 寛博 | 東京大学大学院医学系研究科老化制御分野 | 講師 | 臨床応用可能なアルツハイマー病の生物学的マーカーの確立に関する研究 | 24,000 |
| 35 | 脳科学研究事業 | 秋原 雄一 | 国立精神・神経センター神経研究所脳細胞遺伝研究部 | 室長 | シコゾール7脳筋症の発症予防と治療法開発の研究 | 40,000 |
| 36 | 脳科学研究事業 | 古川 昭宏 | 岐阜薬科大学分子生物学 | 教授 | 神経栄養因子の産生調節による神経細胞の保護・機能促進に関する研究 | 28,000 |
| 37 | 脳科学研究事業 | 鈴木 雅之 | 東京都臨床医学総合研究所 | 副所長 | 神経伝達物の新しい治療法開発に関する研究 | 35,000 |
| 38 | 脳科学研究事業 | 永津 健治 | 厚田保健衛生大学総合医学研究所 | 所長 | パーキンソン病における神経細胞死の分子機構とその保護治療に関する研究 | 53,000 |
| 39 | 脳科学研究事業 | 辻 省次 | 新潟大学脳研究所神経内科 | 教授 | 各種HIV/AIDS病に共通する治療法開発に関する研究 | 80,000 |
| 40 | 脳科学研究事業 | 伊藤 貴司 | 国立療養所中部病院長寿医療研究センター生体機能研究部 | 生体機能研究部長 | モノクローナル抗体による腫瘍外路系疾患におけるカテコールアミン作動性神経活性に関する研究 | 35,000 |
| 41 | 脳科学研究事業 | 小島 卓也 | 日本大学医学部精神神経科学教室 | 教授 | 摂食障害の病態の異質性に関する研究 | 36,000 |

平成13年度厚生科学研究費補助金(脳科学研究事業)採択課題一覧

| | | | | | | | |
|----|---------|--------|----------------------------|--------------------------------|----------------------|--|--------|
| 1 | 脳科学研究事業 | 田平 龍 | 外ウツカシ | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部 | 部長 | アルツハイマー病における神経細胞死促進機構の解明と抑止方法の開発 | 32,500 |
| 2 | 脳科学研究事業 | 柳澤 勝彦 | ヤナキサワヒロ | 国立療養所中野病院長寿医療研究センター痴呆医療研究部 | 研究部長 | アルツハイマー病の発症分子機構に関する研究 | 33,000 |
| 3 | 脳科学研究事業 | 岩坪 威 | イワツネカシ | 東京大学大学院医学系研究科 | 教授 | 蛋白異常蓄積を標的とするアルツハイマー病新規治療法の開発 | 30,000 |
| 4 | 脳科学研究事業 | 祖父江 高治 | フジエタカシ | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 血管平滑筋細胞形質転換と血小板活性化機構に基づく脳血管性痴呆の病因解明と治療法の開発 | 27,000 |
| 5 | 脳科学研究事業 | 吉川 武男 | ヨシガフヲオ | 理化学研究所(脳科学総合研究センター分子神経科学研究チーム) | チームリーダー | 慢性性精神疾患の系統的遺伝子解析 | 37,000 |
| 6 | 脳科学研究事業 | 桃井 隆 | モイカシ | 国立精神・神経センター神経研究所 | 室長 | 神経変性疾患におけるインシテター-カスパーゼ活性化の分子機構と非ペプチド性阻害剤の開発 | 20,000 |
| 7 | 脳科学研究事業 | 和田 圭司 | ワタクヰ | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第4部 | 部長 | 神経変性疾患におけるユビクイニンシステムの分子病態解明と治療法開発への応用 | 35,000 |
| 8 | 脳科学研究事業 | 糸山 稔人 | イトヤマシテ | 東北大学大学院医学系研究科 | 教授 | 筋萎縮性側索硬化症の病態解明と治療法の開発に関する研究 | 22,500 |
| 9 | 脳科学研究事業 | 祖父江 元 | フジエケン | 名古屋大学医学部神経内科 | 教授 | 運動ニューロン疾患の発症関連分子の同定と治療法の開発 | 18,000 |
| 10 | 脳科学研究事業 | 中澤 雅人 | ナカワケマシ | 東京大学大学院医学系研究科神経生物学講座 | 助教授 | 神経幹細胞を用いた神経再生・修復のための基盤技術の開発 | 31,500 |
| 11 | 脳科学研究事業 | 楠 満 | クニミツム | 東京大学(医学部付属病院) | 講師 | 免疫性神経疾患の発症機構の解明と治療法の開発 | 18,000 |
| 12 | 脳科学研究事業 | 山村 隆 | ヤマムラカシ | 国立精神・神経センター神経研究所免疫研究部 | 部長 | 多発性硬化症の発症機構解明と治療法の開発 多発性硬化症の神経免疫学的研究-免疫感受性および疾患抵抗性遺伝子を利用した視神経鞘型多発性硬化症の責任自己抗原の検索 | 35,000 |
| 13 | 脳科学研究事業 | 吉良 圭一 | キリムツシ | 九州大学医学系研究科 | 教授 | インフルエンザ脳炎・脳症発症機序の解明と治療法の開発 | 27,000 |
| 14 | 脳科学研究事業 | 木戸 博 | キトヒロ | 徳島大学分子脳科学研究センター | 教授 | 脳シストワームにおける筋線維損傷の本体の解明 | 18,000 |
| 15 | 脳科学研究事業 | 今村 道博 | イムミチヒロ | 国立精神・神経センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部 | 室長 | 種山型先天性筋シストワームの病態解明と治療法の開発に関する研究 | 36,000 |
| 16 | 脳科学研究事業 | 清水 雅夫 | シズミタカシ | 京都大学医学部 | 教授 | 神経回路網形成障害の分子機構に関する研究 | 17,600 |
| 17 | 脳科学研究事業 | 大野 耕策 | オノウカサシ | 鳥取大学医学部生命科学科神経生物学 | 教授 | 乳幼児期に生じるけいれん発作の病態と治療に関する研究 | 20,000 |
| 18 | 脳科学研究事業 | 飯沼 一幸 | イヘノケカシ | 東北大学大学院医学系研究科小児科学 | 教授 | 中枢神経損傷後の機能回復機構の解明、治療法の開発 | 30,000 |
| 19 | 脳科学研究事業 | 杉本 善 | スギモトシ | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 脳・脊髄損傷の再生的治療法の開発 | 16,000 |
| 20 | 脳科学研究事業 | 川口 三郎 | カガキサヲウ | 京都大学大学院医学研究科 | 教授 | ヒト睡眠・生体リズム障害の病態と治療予防法開発に関する基礎研究 | 27,000 |
| 21 | 脳科学研究事業 | 内山 真 | ウチヤママコシ | 国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部 | 部長 | ストレスへの適応機構の脳内分子機構の解明と予防法の開発 | 25,200 |
| 22 | 脳科学研究事業 | 山脇 成人 | ヤマワキナトシ | 広島大学医学部神経精神医学講座 | 教授 | 常染色体・染色体の分子機構の解明と治療法開発に関する研究 | 29,700 |
| 23 | 脳科学研究事業 | 西川 豊 | ニシガワトシ | 東京医科大学大学院医学部総合研究科 | 教授 | 血液脳関門の機能特性を利用した脳内への薬物及び遺伝子輸送システムの開発 | 31,500 |
| 24 | 脳科学研究事業 | 杉山 健一 | スギヤマケンイチ | 東京大学大学院薬学系研究科製剤設計学 | 教授 | 精神・神経・筋疾患の薬物作用研究薬理に関する研究 | 20,000 |
| 25 | 脳科学研究事業 | 有馬 純正 | アウマジュンシ | 国立精神・神経センター臨床検査科 | 部長 | 幹細胞を用いた筋シストワームに対する治療に関する基礎的研究 | 40,000 |
| 26 | 脳科学研究事業 | 武田 伸一 | 国立精神・神経センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部 | 部長 | 膵臓膵島の分子機構と臨床応用に関する研究 | 27,500 | |
| 27 | 脳科学研究事業 | 早石 修 | ハヤシシウジ | (財)大阪バイオサイエンス研究所第2研究部 | 名誉所長 | 13C-NMRを用いた脳変性疾患に対する新しい診断技術と治療法の開発に関する基礎的研究 | 24,000 |
| 28 | 脳科学研究事業 | 大塚 泰介 | オオツカテイスケ | 国立精神・神経センター武蔵病院神経外科 | 手術部長 | 心身症と神経症におけるヒスチン神経系の異常に関する研究 | 21,000 |
| 29 | 脳科学研究事業 | 福士 豊 | フクジトシ | 東北大学大学院医学系研究科人間行動学 | 教授 | 脳科学研究事業に係る企画及び評価に関する研究 | 30,000 |
| 30 | 脳科学研究事業 | 高橋 清久 | タカハシキヨシ | 国立精神・神経センター | 部長 | 精神分業病の客観的診断法の確立と分子遺伝学的基盤に関する研究 | 35,000 |
| 31 | 脳科学研究事業 | 小島 卓也 | コジマタカヤ | 日本大学 医学部精神神経科学教室 | 教授 | 精神疾患に対する多量体モダリティによる認知機能障害の解明とそれに基づく治療法の開発 | 24,000 |
| 32 | 脳科学研究事業 | 松田 博史 | マツダヒロシ | 国立精神・神経センター武蔵病院(放射線診療部) | 部長 | 感情障害の発症脆弱性としての神経発達・神経再生機能障害に関する基礎的並びに臨床的研究 | 15,900 |
| 33 | 脳科学研究事業 | 三國 雅彦 | ミクニマサヒコ | 群馬大学医学部 神経精神医学講座 | 教授 | パーキンソン蛋白の機能解析と高寛容性及びその制御 | 98,020 |
| 34 | 脳科学研究事業 | 水野 義邦 | ミズノヨシキ | 順天堂大学医学部神経学教室 | 教授 | CAQRIドット病に対する治療法の開発に関する研究 | 35,000 |
| 35 | 脳科学研究事業 | 貫名 健行 | ツキナガユキ | 理化学研究所脳科学総合研究センター病関連遺伝子研究グループ | グループディレクター | 成人T細胞白血病ウイルス関連ミクロバクターの病態の解明及び治療法の開発に関する研究 | 30,000 |
| 36 | 脳科学研究事業 | 納 光弘 | ナカミツヒロ | 鹿児島大学医学部 | 教授 | ライソゾーム性筋疾患の病態解明と治療法開発に関する研究 | 30,000 |
| 37 | 脳科学研究事業 | 西野 一三 | ニシノイチサウ | 国立精神・神経センター 神経研究所脳機能研究部 | 室長 | ゲノム不活化機構の異常に基づく脳発達障害の病態解明と治療法開発の研究 | 25,000 |
| 38 | 脳科学研究事業 | 久保田 健夫 | クボタケンフ | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第二部 | 室長 | 脊髄損傷の発症・末梢神経機能回復法の開発 | 15,000 |
| 39 | 脳科学研究事業 | 山崎 康美 | ヤマザキユミ | 国立大阪病院神経外科 | 部長 | SIP1欠損症・神経発達障害とてんかんを呈する知的障害患者の病態解明と治療法の開発 | 25,000 |
| 40 | 脳科学研究事業 | 吉松 基昭 | ヨシマツモサキ | 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所 遺伝子学部 | 部長 | 遺伝性精神遅滞症(脆弱X症候群)の分子機構解析とその治療への応用 | 25,000 |
| 41 | 脳科学研究事業 | 塩見 善彦 | シホミタカシ | 徳島大学 ゲノム機能研究センター | 教授 | 肝臓内投与用脳卒中・脊髄損傷治療薬の開発に関する研究 | 12,000 |
| 42 | 脳科学研究事業 | 阪中 雅広 | サカナカマサヒロ | 愛媛大学医学部 | 教授 | 即効力的クワイソフェルト-ヤコブ病治療法の確立に関する研究 | 25,000 |
| 43 | 脳科学研究事業 | 常浦 克美 | トウラウカミ | 九州大学大学院医学研究科 | 講師 | 未認可抗生物質ナガマイシンによる筋シストワームの治療 | 25,000 |
| 44 | 脳科学研究事業 | 松田 良一 | マツダリョウイチ | 東京大学大学院 | 助教授 | | |

平成14年度厚生科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)採択課題一覧

| | | | | | | | | |
|----|-----|------------|--------|------------|-------------------------------|------------|--|--------|
| 1 | 815 | こころの健康科学研究 | 森 浩一 | モリ コウイチ | 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 | 室長 | 吃音の病態解明と医学的評価及び治療法の確立のための研究 | 13,000 |
| 2 | 816 | こころの健康科学研究 | 加藤 満彦 | カトノブミサ | 東京大学医学部附属病院 | 教授 | 自閉症の原因解明と予防、治療法の開発 | 30,000 |
| 3 | 817 | こころの健康科学研究 | 三田 雅彦 | ミクニマサヒコ | 群馬大学医学部 | 教授 | 感情障害の発症脆弱性素因に関する神経発達・神経新生の側面からの検討並びにその修復機序に関する分子生物学的研究 | 30,000 |
| 4 | 818 | こころの健康科学研究 | 功刀 浩 | クニギヒロシ | 国立精神・神経センター神経研究所 | 部長 | 自殺を惹起する精神疾患の感受性遺伝子の解明 | 30,000 |
| 5 | 819 | こころの健康科学研究 | 中島 八十一 | ナカジマヤシチ | 国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所 | 部長 | 高次脳機能障害者の生理学的診断方法の開発 | 15,000 |
| 6 | 820 | こころの健康科学研究 | 松岡 洋夫 | マツオカヒロオ | 東北大学大学院医学系研究科 | 教授 | 精神分裂症の発症脆弱性の解明およびその客観的な診断方法の確立 | 30,000 |
| 7 | 821 | こころの健康科学研究 | 大久保 龍朗 | オウクボリウロウ | 東京医科大学大学院保健衛生学研究科 | 教授 | 神経伝達機能イメージングを用いた精神疾患の診断法および治療効果の客観的評価法の確立に関する研究 | 10,000 |
| 8 | 822 | こころの健康科学研究 | 酒井 明夫 | サカイアキオ | 岩手医科大学医学部 | 教授 | 自殺多発地域における中高年の自殺予防を目的とした地域と医療機関の連携による大規模介入研究 | 15,000 |
| 9 | 823 | こころの健康科学研究 | 保田 知孝 | ツカガカズミ | 国立精神・神経センター国府台病院 | 部長 | 重症精神障害者に対する、新たな訪問型の包括的地域生活支援サービス・システムの構築に関する研究 | 30,000 |
| 10 | 824 | こころの健康科学研究 | 切池 俊夫 | キライケフオ | 大阪府立六大学院医学研究科 | 教授 | 児童障害の標準的治療法の開発とそのガイドライン作成と治療体制のあり方について | 15,000 |
| 11 | 825 | こころの健康科学研究 | 岡崎 祐士 | オカザキユウジ | 三重大学医学部 | 教授 | 双生児法による巨とこころの発達過程及び精神疾患発症の解明 | 25,000 |
| 12 | 826 | こころの健康科学研究 | 松下 正明 | マツシマサアキ | 東京独立松沢病院 | 院長 | 触法行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療等に関する基礎的研究 | 30,000 |
| 13 | 827 | こころの健康科学研究 | 福山 秀彦 | フクヤマヒデヒコ | 京都大学大学院医学研究科 | 教授 | 脳機能画像を用いたパーキンソン病の病態と治療法の評価に関する研究 | 29,725 |
| 14 | 828 | こころの健康科学研究 | 坂井 文彦 | サカイフミヒコ | 北星大学医学部 | 教授 | 慢性頭痛の診療ガイドライン作成に関する研究 | 30,000 |
| 15 | 829 | こころの健康科学研究 | 平澤 夏理 | ヒラサワナツメ | 順天堂大学医学部老人性疾患病態・治療研究センター | 講師 | 細胞外マトリックスの異常による遺伝性筋疾患の病態解明と治療法に関する研究 | 20,000 |
| 16 | 830 | こころの健康科学研究 | 池田 雅新 | イケダヤシロウ | 北海道総合医学研究所 | 教授 | ALS分子病態解明とALS治療技術の開発 | 35,000 |
| 17 | 831 | こころの健康科学研究 | 鈴木 義之 | スズキヨシユキ | 国際医療福祉大学臨床医学研究センター | 教授 | 神経伝達素に対するケミカルシャペロン療法の開発 | 10,000 |
| 18 | 832 | こころの健康科学研究 | 水澤 英洋 | ミヅサワヒロユキ | 東京医科大学大学院医学研究科 | 教授 | 発現型RNAを用いた神経・筋疾患の創発的遺伝子治療法の開発 | 35,000 |
| 19 | 833 | こころの健康科学研究 | 渋谷 敏寿 | シバヤノルシ | 国立療養所川柳病院 | 院長 | 遅延的リンパ球接着療法による免疫性神経疾患の治療 | 10,000 |
| 20 | 834 | こころの健康科学研究 | 赤堀 文昭 | アカホリフミチ | 慶応大学医学部(兼)生物科学総合研究所 | 教授(兼)所長 | ひきこもり等の精神問題に対する統合的なアプローチに関する研究(動物介入療法及び音楽療法の臨床的応用) | 4,000 |
| 21 | 835 | こころの健康科学研究 | 石井 哲夫 | イシイテツオ | (社)日本自閉症協会 | 会長 | 高機能広汎性発達障害者の社会的不適応とその対応に関する研究 | 10,000 |
| 22 | 836 | こころの健康科学研究 | 江草 宏彦 | エグサヒロシ | 社団法人 日本重症児福祉協会 | 理事長 | 重症心身障害児施設入所児(者)の20余年間の実態調査の分析に関する総合研究 | 6,600 |
| 23 | 837 | こころの健康科学研究 | 大川 辰子 | オホカワタツコ | 滋賀医科大学 精神医学講座 | 教授 | 睡眠障害対応のあり方に関する研究 | 10,000 |
| 24 | 838 | こころの健康科学研究 | 藤島 晴雄 | フジシマハルユキ | 慶應義塾大学医学部 精神神経科 | 助教授 | 精神疾患治療ガイドラインの策定に関する研究 | 3,600 |
| 25 | 839 | こころの健康科学研究 | 神原 真貴 | カンハラマキ | 山形医科大学 精神神経医学講座 | 教授 | うつ病による自殺の予防を目的としたスクリーニングと介入の研究 | 12,000 |
| 26 | 840 | こころの健康科学研究 | 北村 鋭則 | キタムラトシノブ | 熊本大学医学部 神経精神医学講座 | 教授 | 人間関係の希薄化がもたらした精神保健問題に関する研究 | 5,000 |
| 27 | 841 | こころの健康科学研究 | 吉川 良彦 | ヨシガワリョウヒコ | 国立精神・神経センター精神保健研究所 | 名誉所長 | こころの健康に関する疫学調査の実施方法に関する研究 | 20,000 |
| 28 | 842 | こころの健康科学研究 | 金 育晴 | カネヨシハル | 国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部 | 成人精神保健室長 | 心的外傷体験による発達障害の評価と援助技法の研究 | 10,000 |
| 29 | 843 | こころの健康科学研究 | 小林 秀貴 | コバヤシヒデタカ | 国立公費衛生院 | 院長 | 思春期における暴力行為の原因究明と対策に関する研究 | 11,000 |
| 30 | 844 | こころの健康科学研究 | 斎藤 万比古 | サイトウマンヒコ | 国立精神・神経センター国府台病院 心理・指導部 | 心理・指導部長 | 児童思春期精神医療・保健・福祉のシステム化に関する研究 | 11,000 |
| 31 | 845 | こころの健康科学研究 | 今田 寛寿 | イマダヒロシユキ | 国立精神・神経センター精神保健研究所 | 所長 | 自殺と防止対策の実態に関する研究 | 20,000 |
| 32 | 846 | こころの健康科学研究 | 白倉 克之 | シロクラカクイチ | 国立療養所八尾病院 | 院長 | 青少年の飲酒問題の要因と予防に関する研究 | 8,000 |
| 33 | 847 | こころの健康科学研究 | 中村 敬規 | ナカムラケイキ | 獨協医科大学医学部総合病院救命救急センター | 講師 | 脳外傷後遺症の情動要因、特に心的外傷に注目した認知リハビリテーションとその臨床コストに関する研究 | 5,000 |
| 34 | 848 | こころの健康科学研究 | 草池 雄生 | クサイケユウセイ | 東京医科大学大学院精神行動医学研究科 | 講師 | 自殺予防を目的とした新規心理薬物に関する研究 | 28,000 |
| 35 | 849 | こころの健康科学研究 | 小島 卓也 | コジマタカヤ | 日本大学 医学部精神神経科学教室 | 教授 | 精神分裂症の客観的診断法の確立と分子遺伝学的基盤に関する研究 | 35,000 |
| 36 | 850 | こころの健康科学研究 | 松田 博史 | マツダヒロシ | 国立精神・神経センター厚労省放射線診療部 | 放射線診療部長 | 精神疾患に対する多量画像モダリティによる認知機能障害の解明とそれに基づく治療法の開発 | 24,000 |
| 37 | 851 | こころの健康科学研究 | 若松 直樹 | ワカマツナオキ | 豊川心身障害者コロニー発達障害研究所発達学 | 発達学部長 | SIP1欠損症:神経発達障害とてんかんを呈する知的障害者の病態解明と治療法の開発 | 25,000 |
| 38 | 852 | こころの健康科学研究 | 梶原 孝彦 | カハハラタカヒコ | 理化学研究所 ゲノム機能研究センター | 教授 | 遺伝性精神遅延性障害X症候群の分子機構解明とその治療への応用 | 25,000 |
| 39 | 853 | こころの健康科学研究 | 高橋 清久 | タカハシキヨヒサ | 国立精神・神経センター | 部長 | こころの健康科学研究事業に係る企画及び評価に関する研究 | 30,215 |
| 40 | 854 | こころの健康科学研究 | 水野 義邦 | ミズノヨシキ | 順天堂大学医学部神経科学教室 | 神経学教授 | パーキンソン病の機能的解析と疾患変異性及びその予防 | 75,400 |
| 41 | 855 | こころの健康科学研究 | 真名 康行 | マナナヨシユキ | 理化学研究所脳科学総合研究センター 脳遺伝子研究グループ | グループディレクター | CAG/ロピト素に対する治療法の開発に関する研究 | 35,000 |
| 42 | 856 | こころの健康科学研究 | 納 光弘 | ナダミツヒロ | 慶応義塾大学医学部 | 文部科学省教授 | 成人T細胞白血病ウイルス関連ヒトヘルペスウイルスの病態の解明及び治療法の開発に関する研究 | 30,000 |
| 43 | 857 | こころの健康科学研究 | 西野 一三 | ニシノイチサウ | 国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第一課 | 部長 | ライソソーム性筋疾患の病態解明と治療法開発に関する研究 | 30,000 |
| 44 | 858 | こころの健康科学研究 | 菅浦 京義 | スガウラキョウギ | 九州大学大学院医学研究科 | 助教授 | 即興力のクローンフェルト・マコブ治療法の確立に関する研究 | 25,000 |
| 45 | 859 | こころの健康科学研究 | 松田 良一 | マツダリョウイチ | 東京大学大学院総合文化研究科 | 助教授 | 未知可抗生物質ネガマイシンによる筋ジストロフィーの治療 | 25,000 |
| 46 | 860 | こころの健康科学研究 | 伊藤 順一郎 | イトウジュンイチロウ | 国立精神・神経センター精神保健研究所 | 社会復帰相談部長 | 地域精神保健活動における介入のあり方に関する研究 | 6,600 |
| 47 | 861 | こころの健康科学研究 | 加勢 敦子 | カセアツコ | 国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部 | 部長 | 知的障害児の医学的診断のあり方と療育・教育連携に関する研究 | 6,000 |
| 48 | 862 | こころの健康科学研究 | 鈴木 二郎 | スズキジロウ | 国際医療福祉大学臨床医学研究センター | 教授 | 精神医学における倫理的・社会的問題に関する研究 | 10,000 |
| 49 | 863 | こころの健康科学研究 | 長瀬 理雄 | ナガセリユキ | 医療法人社団東京薬成会 高月病院 | 院長 | 病態に応じた精神科リハビリテーション療法の研究 | 2,400 |
| 50 | 864 | こころの健康科学研究 | 田平 武 | タナヒラタケ | 国立療養所中部病院長寿医療研究センター | センター長 | アルツハイマー病における神経細胞死促進機構の解明と抑止方法の開発 | 32,500 |
| 51 | 865 | こころの健康科学研究 | 柳澤 朋彦 | ヤナギサワトモヒコ | 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター産業疾患研究部 | 産業疾患研究部長 | アルツハイマー病の発症分子機構に関する研究 | 35,000 |
| 52 | 866 | こころの健康科学研究 | 岩井 威 | イワヰタケシ | 東京大学大学院医学系研究科・医療科学講座・臨床医学教室 | 教授 | 蛋白質異常蓄積を標的とするアルツハイマー病新規治療法の開発 | 30,000 |
| 53 | 867 | こころの健康科学研究 | 吉川 良彦 | ヨシガワリョウヒコ | 理化学研究所 脳科学総合研究センター分子精神科学研究チーム | チームリーダー | 慢性的精神疾患の系統的遺伝子解析 | 37,000 |
| 54 | 868 | こころの健康科学研究 | 大野 耕策 | オホノコウサク | 鳥取大学医学部脳幹性疾患研究施設・脳神経小児科 | 教授 | 神経回廊網形成障害の分子機構に関する研究 | 15,840 |
| 55 | 869 | こころの健康科学研究 | 飯沼 一夫 | イハノベヒコ | 東北大学大学院医学系研究科小児医学講座・小児神経学分野 | 教授 | 乳幼児期に生じるけいれん発作の病態と治療に関する研究 | 18,000 |

平成14年度厚生科学研究費補助金(こころの健康科学研究事業)採択課題一覧

| | | | | | | | | |
|----|-----|------------|--------|-----------|----------------------------|----------|---|--------|
| 56 | 870 | こころの健康科学研究 | 内山 真 | ウチヤマ マコト | 国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部 | 部長 | ヒト睡眠・生体リズム障害の病態と治療予防法開発に関する基礎研究 | 27,000 |
| 57 | 871 | こころの健康科学研究 | 山藤 成人 | ヤマフキ シュウ | 広島大学医学部神経精神医学講座 | 教授 | ストレスへの適応過程の脳内分子機構の解明と予防法の開発 | 25,200 |
| 58 | 872 | こころの健康科学研究 | 西川 徹 | ニシカワ トオル | 東京医科大学大学院医学部総合研究科精神行動医学分野 | 教授 | 覚醒剤・薬量依存の分子機構の解明と治療法開発に関する研究 | 32,670 |
| 59 | 873 | こころの健康科学研究 | 早石 伸 | ハヤシ オサム | (財)大阪バイオサイエンス研究所第2研究部 | 名誉所長 | 睡眠調節の分子機構と臨床応用に関する研究 | 30,250 |
| 60 | 874 | こころの健康科学研究 | 相父江 素治 | ソエケンジ | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授 | 血管平滑筋細胞形質転換と血小板活性化機構に基づく脳血管性痴呆の病因解明と治療法(発症および進行阻止法)の開発 | 27,000 |
| 61 | 875 | こころの健康科学研究 | 筑井 隆 | ツキイ タカシ | 国立精神・神経センター神経研究所 | 疾病研究第5部長 | 神経変性疾患におけるインシナーカスパー活性化の分子機構と非ペプチド性阻害剤の開発 | 20,000 |
| 62 | 876 | こころの健康科学研究 | 和田 圭司 | ワタ ケイジ | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第4部 | 部長 | 神経変性疾患におけるユビキチンシステムの分子病態解明と治療法開発への応用 | 35,000 |
| 63 | 877 | こころの健康科学研究 | 糸山 泰人 | イトヤマ ヤスヒト | 東北大学大学院医学系研究科神経内科 | 教授 | 筋萎縮性側索硬化症の病態解明と治療法の開発に関する研究 | 22,500 |
| 64 | 878 | こころの健康科学研究 | 相父江 元 | ソエケン | 名古屋大学医学部研究科神経内科 | 教授 | 運動ニューロン疾患の病態関連分子の同定と治療法の開発 | 18,000 |
| 65 | 879 | こころの健康科学研究 | 中橋 雅人 | ナカハシ マサヒト | 東京大学大学院医学系研究科神経生物学講座 | 助教授 | 神経幹細胞を用いた神経再生・修復のための基礎技術の開発 | 34,650 |
| 66 | 880 | こころの健康科学研究 | 楠 達 | クサキ スミ | 東京大学医学部附属病院 | 講師 | 免疫性神経疾患の発症機構の解明と治療法の開発 | 18,000 |
| 67 | 881 | こころの健康科学研究 | 山村 隆 | ヤマムラ タカシ | 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第6部 | 部長 | 多発性硬化症の発症機構解明と治療法の開発 多発性硬化症の神経免疫学的研究—疾患感受性および疾患抵抗性遺伝子を利用した複神経脊髄型多発性硬化症の責任自己抗原の検索 | 35,000 |
| 68 | 882 | こころの健康科学研究 | 吉良 潤一 | キラ ジュンイチ | 九州大学大学院医学研究院 | 文部教官・教授 | | 26,100 |
| 69 | 883 | こころの健康科学研究 | 木戸 博 | キド ヒロシ | 徳島大学分子酵素学研究中心・酵素分子化学部門 | 教授 | インフルエンザ脳炎・脳症発症機序の解析と治療法の開発 | 27,000 |
| 70 | 884 | こころの健康科学研究 | 今村 道博 | イマムラ ミチヒロ | 国立精神・神経センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部 | 部長 | 筋ジストロフィーにおける筋線維崩壊の機序の解明 | 18,000 |
| 71 | 885 | こころの健康科学研究 | 清水 雅夫 | シズキ タカオ | 奈良大学医学部 | 教授 | 福山型先天性筋ジストロフィーの病態解明と治療法の開発に関する研究 | 36,000 |
| 72 | 886 | こころの健康科学研究 | 杉本 香 | スギモト コウ | 大阪大学大学院医学系研究科 | 教授(救急医学) | 中枢神経損傷後の機能回復機構の解明・治療法の開発 | 30,000 |
| 73 | 887 | こころの健康科学研究 | 川口 三郎 | カワグチ サブロー | 京都大学大学院医学研究科・医学部 | 教授 | 脳・脊髄損傷の再生的治療法の開発 | 16,000 |
| 74 | 888 | こころの健康科学研究 | 杉山 誠一 | スギヤマ コウイチ | 東京大学大学院薬学系研究科薬理設計学教室 | 教授 | 血液脳関門の機能特性を利用した脳内への薬物及び遺伝子輸送システムの開発 | 31,500 |
| 75 | 889 | こころの健康科学研究 | 青馬 邦正 | アヲマ ケンマサ | 国立精神・神経センター武蔵病院臨床検査部 | 部長 | 精神・神経・筋疾患の薬理用研究資源に関する研究 | 20,000 |
| 76 | 890 | こころの健康科学研究 | 鹿田 伸一 | カクタ シンイチ | 国立精神・神経センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部 | 部長 | 幹細胞を用いた筋ジストロフィーに対する治療に関する基礎的研究 | 40,000 |

③ 研究成果及びその他の効果

- 精神疾患の病因・病態の解明、遺伝子情報に基づく機能予測、疫学調査等を行うことにより、画期的な予防、診断、治療法等の研究開発を推進するとの目的に沿った研究事業を実施しており、14年度終了研究においては、次のような成果があった。

- 精神疾患の病態解明に関する研究においては、

- ・アルツハイマー病の発症病態に重要なアミロイド蛋白に関わる分子機構や、アミロイド蛋白蓄積に引き続く神経細胞死促進の機構解明（柳澤班、及び田平班）
- ・国民的な健康課題の一つである睡眠障害の基礎となる、生体リズム異常の病態解明（内山班）
- ・難治性となりやすい、乳幼児期のけいれんの発生メカニズム解明（飯沼班）
- ・精神疾患ゲノムバンクの構築と統合失調症の遺伝子解析（吉川班）
- ・依存性薬物による精神病状態や依存形成に関与する新たな多数の分子の発見（西川班）
- ・ストレス適応・破綻の脳内機序及び幼児期のストレスと成熟後のストレス脆弱性との関連の解明（山脇班）

等、分子生物学・遺伝子解析・画像解析等の手法を用いて、新たなメカニズムの解明が進んだ。これらの結果は、新たな診断手法や、精神疾患の発症予防や治療に資する治療薬の開発に向けた大きな手がかりとなるものである。

- 精神疾患の診断治療等の臨床に直結する研究においては、

- ・知的発達障害の診断と評価のための医学的検査のガイドライン試案作成（加我班）
- ・摂食障害の治療ガイドライン作成（切池班）
- ・吃音の標準的検査法の幼児版の改訂（森班）

等が行われ、今後これを普及することにより、これらの疾患・障害に対する医療の質の向上、医療関係者相互や福祉・教育関係者との連携の促進、医療資源の効果的な利用が進むものと期待できる。

- さらに、行政施策と関わりの深い研究においては、

- ・精神保健福祉法に基づく精神医療における人権保護等の現状と課題の体系的整理（鈴木班）
- ・現在（平成15年4月現在）国会審議中の「心神喪失者等医療観察法案」の施行時に必要となるがわが国では未発達な司法精神医学・医療の体系全般について取組み、制度の各段階における医学的評価、治療プログラム、地域における関係者の役割、

教育研修、制度運営のモニタリング手法等について、今後短期間のうちに、エビデンスに基づく多数のガイドラインや基準案等を提案する基盤確立（松下班）が行われ、人権への特別な配慮が求められるという精神医療の特性を踏まえた、法運用のより一層の改善や、法施行に向けた科学的事実やデータの蓄積がなされた。

⑦研究事業の総合評価

- わが国の精神疾患による受療者は200万人を超え、年間の自殺死亡者は3万人を超えている。また思春期のひきこもり、問題行動など、こころの問題と関連する社会問題もクローズアップされている。このように、「こころの健康問題」は、従来からのテーマである精神分裂病（統合失調症）等の狭義の精神病はもちろんのこと、軽症のうつ、神経症、摂食障害、ストレス性障害、睡眠障害、幼少期からの発達障害等、非常に広範かつ深刻な問題をカバーするようになってきている。また「こころの健康問題」の特性として、遺伝子解析・分子機構解明・画像解析等による脳内機構解明から、表現される行動の評価、福祉を含む社会システムとの関連、倫理や人権上の配慮まで、重層的な視野での取り組みが不可欠である。
- 「こころの健康科学研究事業（精神分野）」においては、このような状況を踏まえ、平成14年度の事業再編統合から、行政的ニーズに沿った研究推進と、その適切な評価を進めてきたところである。
- この結果、平成14年度終了研究においては、
 - ・精神疾患の病態解明については、身体的疾患に比して、十分進んでいなかった分野であるが、最新の遺伝子解析、分子機構解明、画像解析等の手法に基づく研究が進められた結果、新たな機構や新たな分子の発見等により、新たな予防手法や治療薬の開発、客観的診断手法の開発にむけた展開が期待される成果が得られ、
 - ・精神疾患の診断治療等については、知的発達障害、摂食障害、吃音の検査・診断・治療等に関するガイドラインの作成により、医療の質や、関係者の連携、医療資源の効果的利用に資する成果が得られ、
 - ・精神医学の新たな分野であると同時に行政施策との関連も深い、司法精神医学の研究基盤は形成されるなど、研究事業の目的に沿った具体的な成果が得られ、随時、行政にもフィードバックされている。
- 一方、幅広い「こころの健康問題」の中から特に行政的ニーズの高い分野をよりの確にとらえて効率的な研究を推進する必要があると認識しており、研究事業執行体制の整備も含め対応していかなければならない。

国民の健康に占める「こころの健康問題」の重要性に鑑み、本事業を強力に推進していく必要がある。